

CAE技術研究会のご紹介

CAEとは？

CAE(Computer Aided Engineering)とは、コンピュータを利用して設計や工程の妥当性などを検証すること、またはそのための手段のことで、コンピュータシミュレーションなどとも呼ばれています。CAEは、構造や振動をはじめとして電磁場、流体、樹脂や鋳造、鍛造など広い分野で活用されています。CAEを活用して設計段階からさまざまなシミュレーションを行なうことにより、試作やその評価試験を減らすことができるため、開発期間の短縮や工程改善、品質の向上などが期待できます。

しかし、習得に時間がかかることやソフトの導入費用や維持管理費用が高価であることなどから、誰もが気軽に扱える環境とはいえない現状があります。

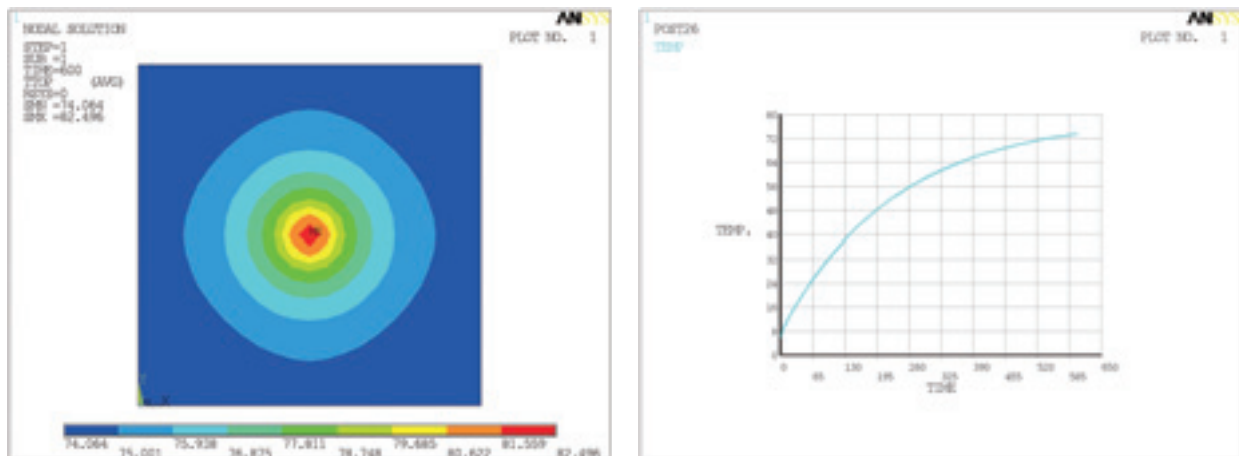
CAE技術研究会

当センターでは、財団法人近畿地方発明センターと共催で「CAE技術研究会」を開催しています。

この研究会では、構造解析、熱伝導解析、熱応力解析、振動解析の分野を対象として、最初の半年間はソフトの取扱い研修を行ないます。ソフトは安価な「ANSYS ED」を使用し、会員に購入してもらうことで常に身近にソフトがある環境を整えています。研修の中では実習を通して解析に必要な基礎的な材料力学、伝熱工学、振動工学などの理論や有限要素法の概略、モデルの作り方や境界条件の与え方、計算結果の評価方法などを習得します。

以後は会員個別の事例研究に取り組みます。事例研究は、会員が実務として直面していることを各自で選定して行ない、その成果を年度末に成果発表会で発表します。これらの研修、事例研究から発表までの一連の活動を通じて設計技術者のスキルアップを目指しています。

研修課題の一例(熱伝導解析)



平板の中央に熱源を与えた場合の温度分布(左)と、発熱開始から10分後までの温度上昇を解析した例(右)

成果発表会のご案内

日 時:平成23年3月9日(水) 13:00 ~ 17:00(予定)

会 場:京都府産業支援センター 5F 研修室

参加費:無料

会員の事例研究の成果の発表と、平成23年度「CAE技術研究会」の概要説明を行います。この発表会は公開で行ないませんので、どなたでも参加いただけます。

開催日時や内容につきましては変更することがございますので、詳細はホームページ、メルマガ等でご確認ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497

E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp